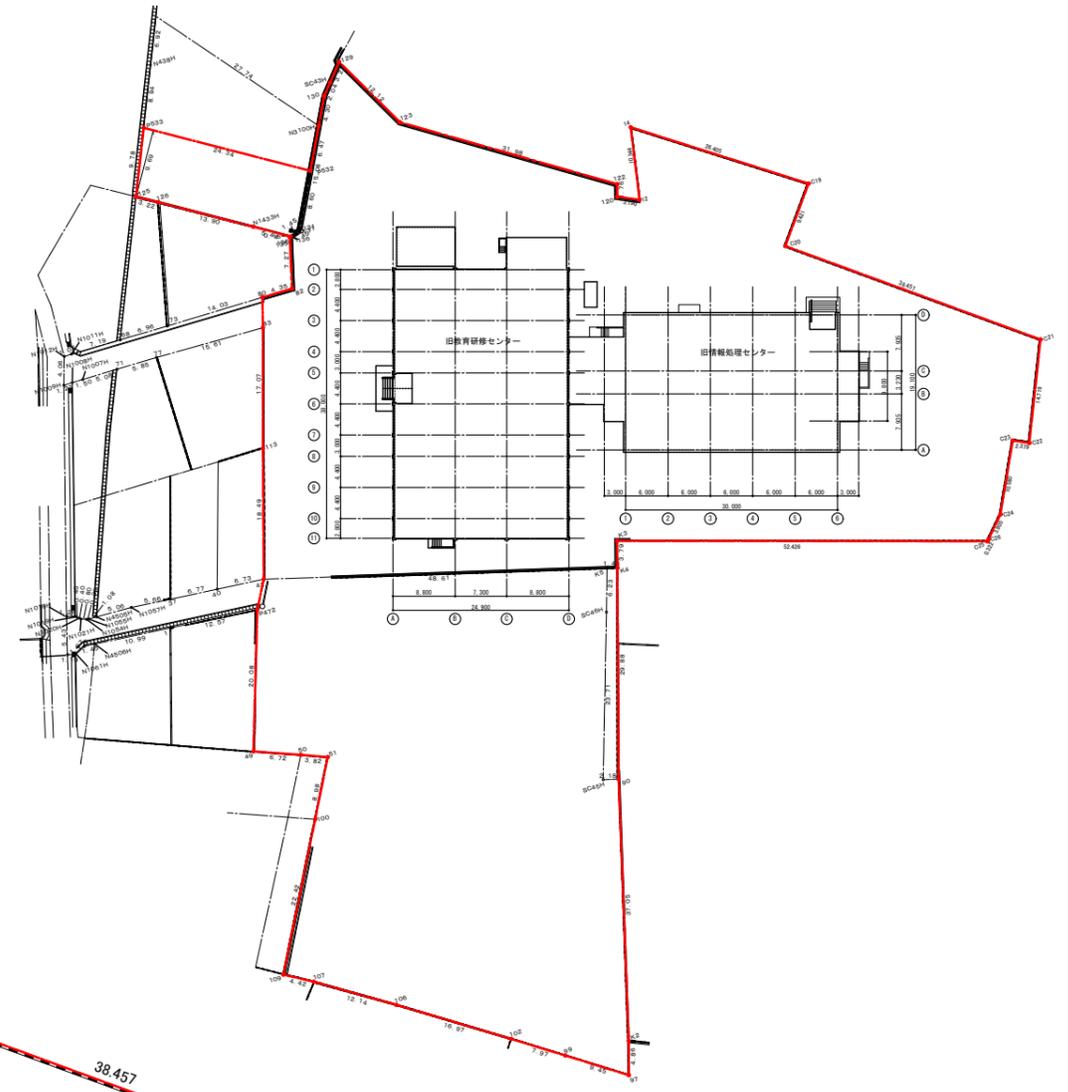
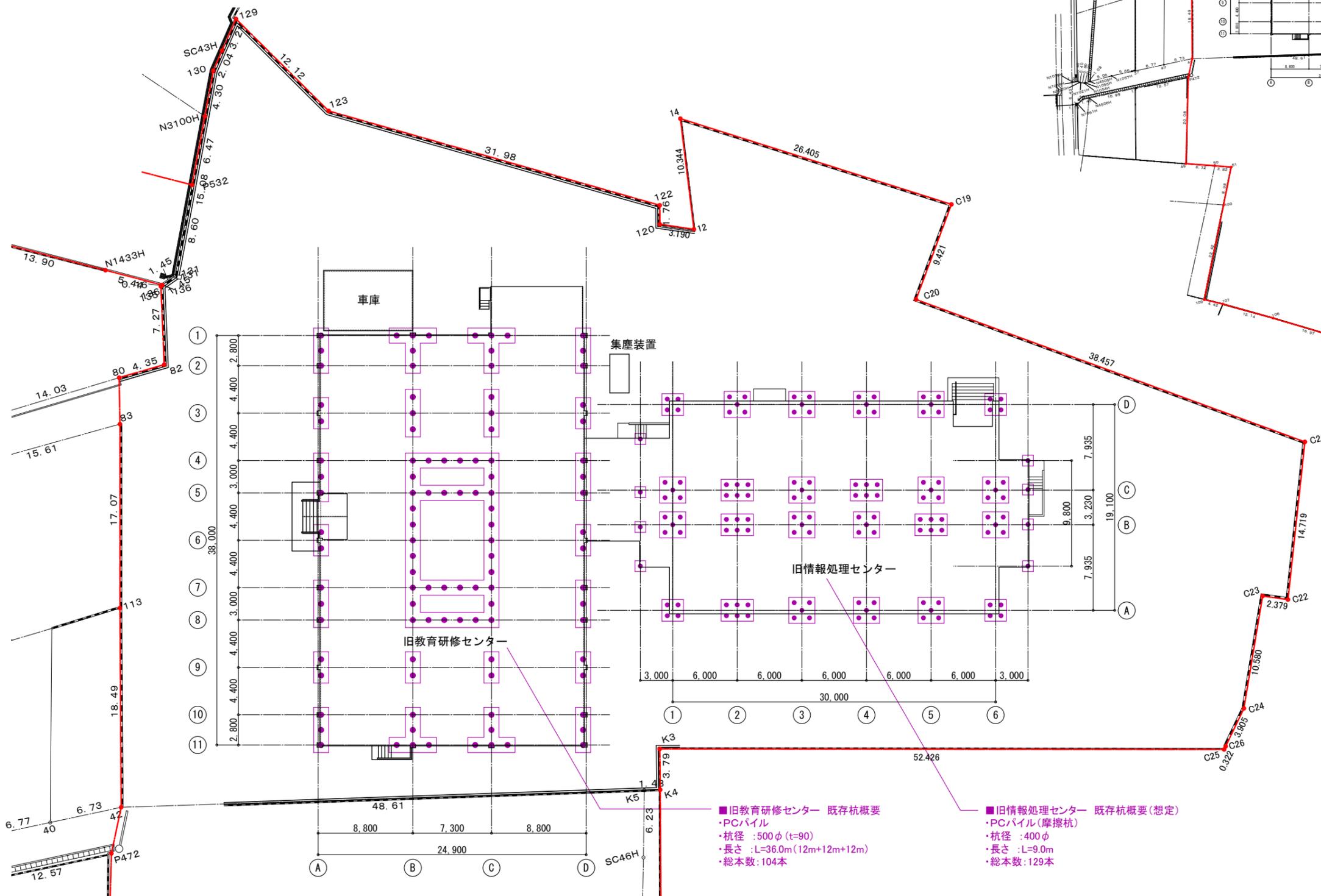


旧施設配置図
S:1/1,000(A3)



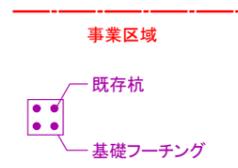
既存杭位置図
S:1/400(A3)

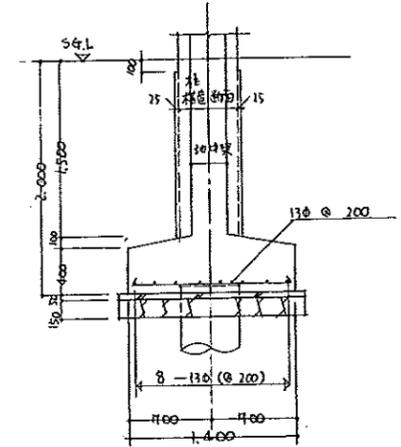
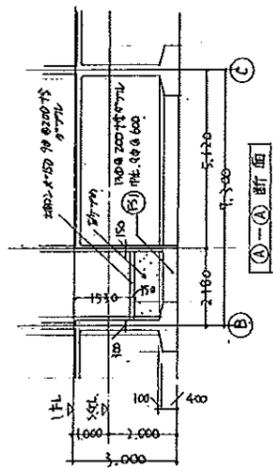
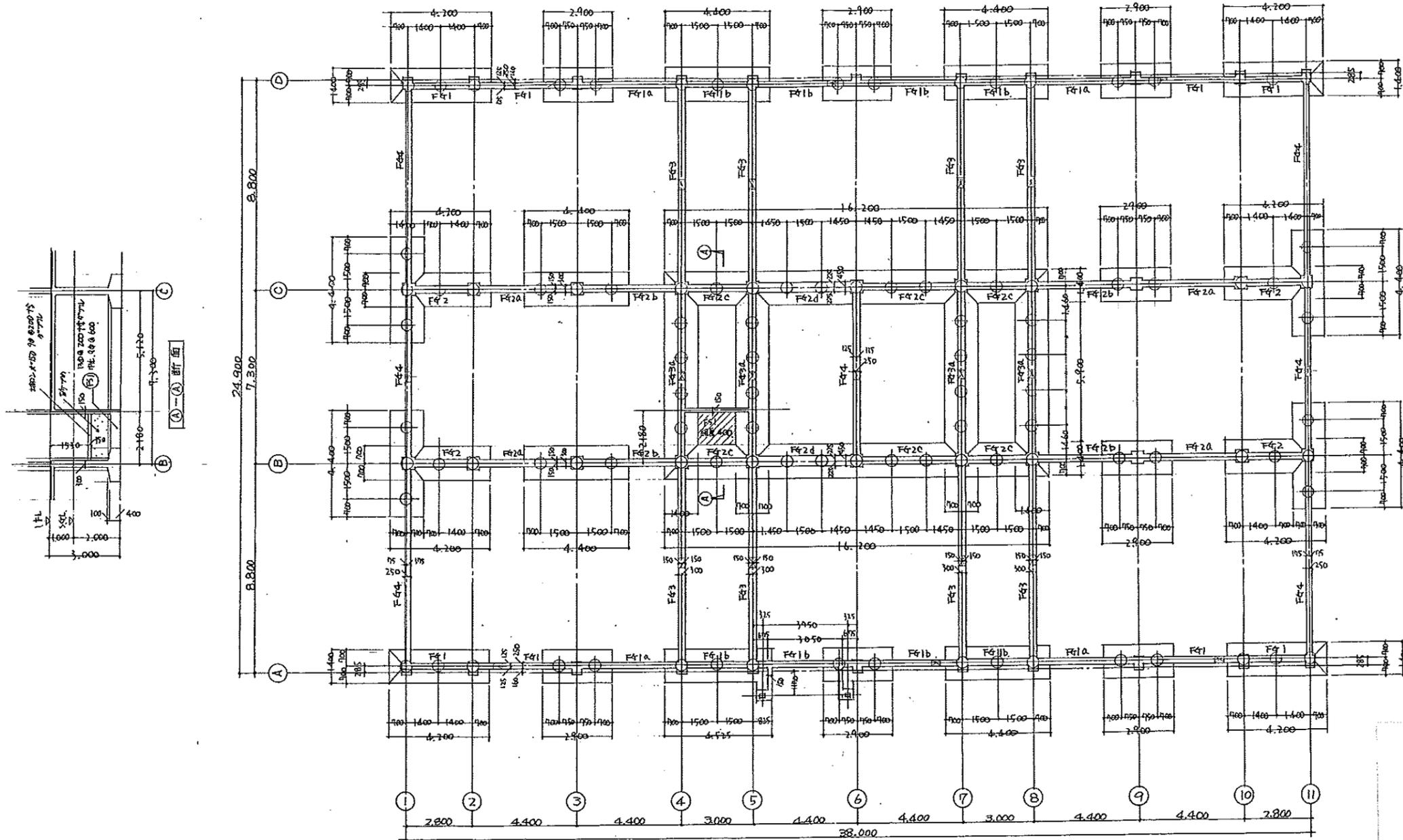


■旧教育研修センター 既存杭概要
 ・PCパイプ
 ・杭径 : 500φ (t=90)
 ・長さ : L=36.0m (12m+12m+12m)
 ・総本数: 104本

■旧情報処理センター 既存杭概要(想定)
 ・PCパイプ(摩擦杭)
 ・杭径 : 400φ
 ・長さ : L=9.0m
 ・総本数: 129本

・図に示すとおり、旧教育研修センター及び旧情報処理センターの既存杭が残った状態である(位置等は参考)。
 ・本図を参考に、県営住宅の工事に際して既存杭による支障がある場合は、事業者において適宜、当該影響のある杭の撤去を行うこと。
 ・なお、工事に支障のない既存杭については存置することにより。
 ※各施設の基礎伏図等は2枚目以降を参照のこと。



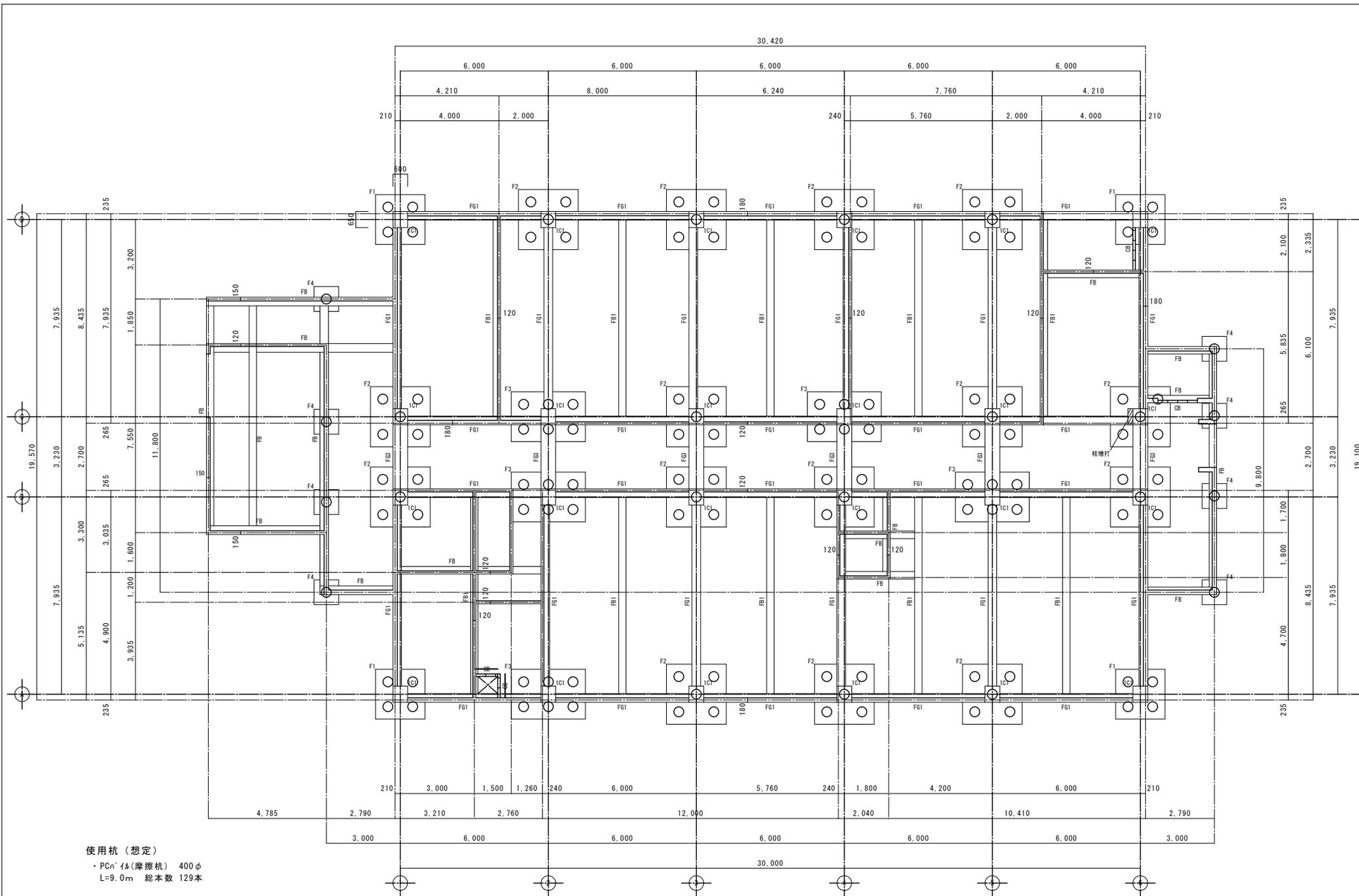


基礎詳細図 1/10

註記: 基礎取付は工圖 1-53, 但し A-A 部は K33R 仕様にて。

桁基礎A-10中架伏図 1/100

- 註記: 1. 本工事に使用する桁口 P.C 104VL VTS 鉄下敷 104本
 寸 500φ (4×90)
 長 17,000+17,000+12,000 (36,000)
 桁耐力 R=10 TON/p (長期)
2. 2×711-1 強度 $F_c = 275 \text{ kg/cm}^2$
3. 基礎 130 以下 SR 24, D16VL 工 SPS.
4. 鋼部材は表準 S4L 2L BH+500 VTS.
5. 鋼部材は E7 地中架は用口 (300×400) にて、(高圧地中架取付図にて)



使用杭 (想定)
 ・PCφ400 (摩擦杭) 400φ
 L=9.0m 総本数 129本

工事 名称	図名	旧情報処理センター 基礎伏図 (想定図)	縮尺	1/100 (A2) 1/200 (A4)	年月
	縮尺	1/100 (A2) 1/200 (A4)			